

令和4年度 和歌山市立三田小学校 スクールプラン

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の推進
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域と共にある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供の学力を定着させてほしい。
- 明るく楽しい学校にしてほしい。
- 相手の気持ちがわかる子供に育ててほしい。
- 地域に誇りをもってほしい。

【学校教育目標】

主体的・創造的な子供を育てる

【めざす子供像】

- ・自ら学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・健康でたくましい子
- ・豊かな体験をもつ子

前年度の学校評価

- 落ち着いて授業ができつつある。
- 学校の様子が、ホームページでよく分かるようになってきた。さらに伝わるような工夫が必要である。
- 地域人材の活用をさらに進めてほしい。

児童の実態

- 挨拶ができるようになってきた。
- 時間を守り行動できるようになってきた。
- 学力差が依然として大きい。
- 最後まで粘り強く取り組む力が弱い。
- 家庭学習の定着率がやや低い。

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎子供主体の授業の推進
- ◎家庭学習の定着
- ◎読書活動の推進

豊かな心の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- ◎社会性・協調性の育成
- ◎積極的に挨拶ができる子に

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- ◎危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎保幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進
- ◎地域の資源活用の推進

具体的な取組

- 朝学、基礎学、放課後フォローアップタイムの充実を図る。
- 学びのルールや粘り強く考える学習習慣の定着を図る。
- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を意識した授業を行う。
- 手引きを活用し、保護者と協力しながら家庭学習の定着を図る。
- 読み聞かせや読書活動を積極的に取り入れ、文字に興味をもたせ、学習への意欲づけをする。

- 道徳の充実を図るうえで「みんなの道徳」「心のとびら」を有効に用いる。
- いじめアンケートを年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。
- 情報モラルを学ぶ機会をもつ。
- 「わくくらす」をはじめ、命の大切さを学ぶ機会を設ける。
- 教師が手本となって、挨拶をする習慣をつけていく。

- 1年から6年までの系統性を意識して作成した体育年間指導計画に基づいた体育科指導を行い、冬に行う校内なわとび大会を通じた基礎体力の向上を図る。
- 「早寝、早起き、朝ごはん」を保護者に啓発するとともにSANTA70(生活調べ)を行い、生活改善・意識改善に努める。
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する。

- 各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する。
- 授業で地域に出て、積極的に交流を行い、多様な生き方を学ぶ。
- 保幼小の接続、中学校区での小・小中の連携を推進・充実する
- 授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティア等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する。

指標

- ・県学習到達度調査で平均正答率が県平均を上回る。
- ・毎日の勉強が分かる。(児童アンケート 90%)

- ・学校が楽しいと感じる。(児童アンケート 95%)
- ・「みんなの道徳」等の活用 100%
- ・いじめの解消率 100%

- ・朝ごはんを食べた。(児童アンケート 100%)
- ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した。(教師 90%)
- ・避難訓練において、一次避難が避難開始より4分以内に完了する。

- ・学校の様子がよく伝わった。(保護者アンケート 80%)
- ・ゲストティーチャーを招く等、地域の人材や文化等を学習に取り入れることができた。(教師 90%)

◎：特に重点的に取り組むこと